

こんにちは

みささ議会です

令和5(2023)年

10月号



主な内容

- 9月定例会・一般会計決算を審査… 2～3
- 常任委員会で慎重審査 …………… 4～5
- 議員6人が一般質問 …………… 6～12
- 議案の賛否 ……………13
- 大好きみささ町・活動報告 ……………14

みんなでジャンプ
(小鹿三徳ふれあい運動会)

一般会計決算審査特別委員会

9月14日に一般会計決算審査特別委員会（松原成利委員長）を開催しました。この委員会は5名の委員で構成され、総務教育・産業民生常任委員会で審査した一般会計決算の内容を、さらに細かく審査するものです。その結果、原案のとおり認定すべきものと決定しました。

令和4年度一般会計決算を認定

危険家屋対策事業

- 問 廃業旅館等の大規模な建物は、補助の上限額を大きく超えた費用がかかるため、解体・撤去が難しい状況。町は大規模な危険家屋への対応は考えているのか。
- 答 国・県の補助金等の調査や研究、先進自治体の事例等を参考にしながら、いずれにしても所有者の負担が必要。空き家等対策協議会で有識者等の意見を取り入れ検討したい。

災害復旧費

- 問 台風7号は多くの農業関係施設に被害をもたらし、来年の田植えに不安を抱えている農家は非常に多い。区長や農家に復旧工事の計画、作付けの可否等を示し、確実に実施すべき。
- 答 台風7号による被害は件数、金額とも令和3年7月豪雨より大きい。急を要する水路等から優先復旧に努めたい。準備が整い次第、区長へ対応状況や補助・支援制度の通知等を行う予定である。

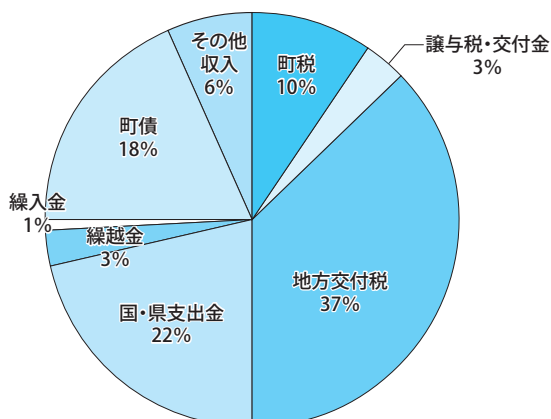
バス運行対策費補助金、町有償運送運行事業

- 問 令和3年度予算で、2つの事業を併せて町の財政負担が増加した場合は、事業の見直し等を検討するよう付託意見を出したが、現在も条件は守っているか。住民の意見を活かした見直しを検討しては。
- 答 新型コロナウイルス感染症などで単純比較はできないが、財政負担は抑えられていると思う。引き続き計画的な運行に努めたい。サンサンバスの利用者や地域の意見をお聞きし、調整を行いつつ対応したい。



台風7号による被害

【歳入】 68億3,022万円



歳入内訳		(万円)
町	税	65,067
譲与税・交付金		22,672
地方交付税		254,771
国・県支出金		147,023
繰越金		18,751
繰入金		4,525
町債		126,077
その他収入		44,136
計		683,022

ふるさと健康むら管理費

- 問 ふるさと健康むらの屋外トイレや温泉街の公衆トイレの清掃が不十分である。観光地として、公衆トイレの汚れは町全体のイメージダウンにも繋がると思うが。
- 答 指定管理者である観光協会にはトイレ清掃の指示はしたが、管理・清掃が徹底されず疎かになっていた。温泉街の公衆トイレの清掃と併せ、再度厳重に注意・指導を行っている。

鳥獣被害対策関係事業

- 問 毎年鳥獣の捕獲数は増えているが、捕獲した個体を山に埋め、それが餌となり更なる獣害被害に繋がったケースもある。捕獲後の処理費用への支援は考えているのか。
- 答 現状では支援はない。鳥獣捕獲数増加に伴う労力や費用負担の増加を考え、他町の対応も参考にし適切な埋設指導と負担軽減策を考えたい。



捕獲した鳥獣

三朝町冬季直行バス及び高速バス運行支援応援事業

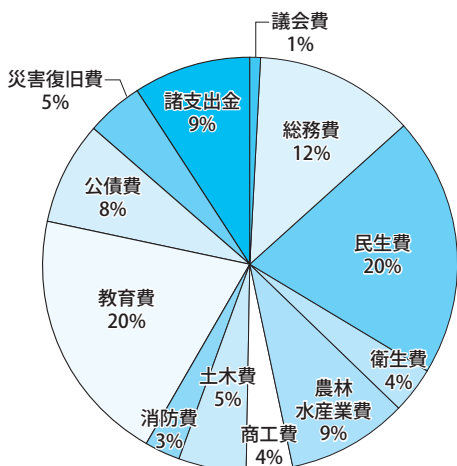
- 問 冬季間におけるバスの運行事業者へエネルギー価格高騰に係る経費の一部を支援しているが、利用者数やバスの増便といった経済効果はあったのか。今後も支援を行っていくのか。
- 答 コロナ禍や燃料費が高騰するなか、バスの運行の継続を目的に支援を行った。支援した3事業者は減便せず運行を行い、2,850人の利用者があった。想定の概算で5,700万円の経済効果があったと考えている。今後は状況を見ながら考えていきたい。

三朝町中山間地域買物支援事業補助金

- 問 町は移動販売車の運営経費の一部を支援しているが、どのような活動実績があがっているのか。JAが店舗撤退するなか、より一層力を入れて支援すべきと思うが、運営支援補助金の追加など更なる買物支援の充実策は考えているのか。
- 答 移動販売事業者（とくし丸）への燃料費、修理費、備品購入費等の運営経費の支援を行った。30集落に販売を展開し、販売実績は当初の計画を上回っていると聞いている。今後の支援は事業者の実績を見ながら検討したい。

このほかに5件の事業と併せて12件の審査を行いました。また、令和5年度予算の付帯意見を付けていた進捗状況について聞き取りの確認をしました。

【歳出】 67億478万円



歳出内訳	(万円)
議会費	7,557
総務費	83,307
民生費	136,138
衛生費	24,202
農林水産業費	62,425
商工費	24,162
土木費	35,259
消防費	20,147
教育費	133,782
公債費	53,879
災害復旧費	29,954
諸支出金	59,666
計	670,478

常任委員会 で慎重審査

委員会における主な質疑

総務教育常任委員会

光熱費助成事業について

問 生活困窮世帯光熱費助成事業と支え合い光熱費助成事業で世帯数が違うのはなぜか。

答 光熱費助成は、それぞれ基準日が違い、転出や転入により世帯数に差が出ている。県の補助金事業であるため、1/2を県、残りの1/2は国のコロナ交付金を財源に充当して行うもので、実質町の持ち出しはない。

図書館での新刊購入について

問 町民がこの本を買って欲しいという要望をしたら対応してもらえるのか。新刊購入には選考基準があるのか。

答 町民から希望があれば、なるべく要望にそって買うようにはしている。ただ県内の図書館がすでに購入しているものは、他の図書館から取り寄せることもある。



図書館窓口での貸出対応

放課後児童対策費の利用料について

問 学童クラブの利用料が中部1市4町で一番高い。多くの事業で中部は横並びにしているのになぜ一番高くなっているのか。

答 中部で合わせるというより必要経費を試算し、必要最低限の料金として設定している。

成年後見事業の内容と費用負担について

問 成年後見制度を利用できる体制はどのようになっているか。

答 中部1市4町でミットレーベン（中部成年後見支援センター）に事業を委託し、後見人を受けてもらったり、相談にあたってもらっている。

問 費用負担はどうやって決めているのか。

答 人口割と利用者数、相談件数による実績割で算定している。

障害者自動車運転免許取得費助成金について

問 助成金はどの程度の障害から支給されるのか。3級、4級でも支給されるのか。

答 障害者手帳を持っている方が対象。3級、4級でも対象になる。

特定入所者介護サービス費について

問 施設への入所後に食費の支援があるのはなぜか。

答 収入や貯金の額に応じ、1日の食費・住居費の上限が決まっていてそれが減額されているもの。

問 年金だけでも施設入所はできるのか。

答 特別養護老人ホームは年金だけでも入れると思うが、介護老人保健施設等は年金で不足する費用は家族等の負担となる。



特別養護老人ホーム（三喜苑）

台風7号での対応について

問 台風7号の時、テレビで天神川に水防団待機と出ていたが、三朝町も関係しているのか。

答 町では消防団が水防団を兼ねている。団長の指示で出動するため、出動費の対象になる。

問 台風7号では消防団の情報の伝達はどのように行われたのか。

答 防災無線では放送していないが、団長や地区団長が役場に待機し、指揮命令系統により各班・団員へ指示を行った。

産業民生常任委員会

バス運行の財政的な負担状況は

問 町営バスであるサンサンバスを導入して1年が経つが、公共交通バス維持のための町全体の財政的な負担は以前と比較してどうなっているか。

答 日ノ丸バスの路線運行だけの時と比較して町の財政的な負担はほぼ変わっていないが、利用者の利便性の向上の面で効果が上がっていると考えている。引き続き現場で対応しながらしっかりやっていきたい。



サンサンバス

日本遺産の再認定に向けての取組みは

問 昨年、日本遺産が条件付きで認定継続となったが、次期の再審査への手ごたえはどうか。

答 日本遺産の再認定については、最重要課題だと認識している。日本遺産ウィークといった地元での盛り上げの他に、県外での繰り出し宣伝も行いながら県内外に積極的にPRしていきたい。

アシストスーツの活用方法は

問 農業用アシストスーツを町で購入しているが、今後どのように活用していくつもりか。

答 各種研修等での使用を目指したり、相談を受けた際には貸出して使用感を確認してもらったりすることを予定している。

台風7号の被害対応について

問 令和3年7月の水害と比較して、さらに大きな被害となっているが対応状況はどうか。

答 専決処分対応で測量・設計業務関連予算を計上し、今回の補正予算で工事関係予算を挙げていくなどできるだけ早く対応していきたい。

問 災害件数や規模も大きく職員の負担も大きいと思うが、スピード感を持って対応できる体制づくりが必要ではないか。

答 県職員を派遣していただき現地調査の支援等受けており、その他団体からの支援や役場OBから支援協力の話もある。関係機関と連携しながら復興を進めていきたい。



台風7号の被害

三朝・楽市楽座について

問 JAから9月末をもって閉店すると連絡があったということだが、町として今後の対応をどのように考えているのか。

答 楽市楽座はJAの施設となっており町が直営で運営することは困難だと思っている。道の駅としての登録がどうなるのか等については国土交通省と協議していきたい。



閉店された「楽市楽座」

アスベスト撤去補助事業について

問 アスベスト処理の補助金は町単独補助金なのか。また、民間事業者だけが対象になるのか。

答 本補助金は、財源として国県補助金も含まれている。また、対象者は民間事業者だけでなく一般の方も対象となる。

マイナンバーカードについて

問 現在の発行状況と休日の受付状況はどうか。

答 7月末現在で77%となっており県内では上位から3番目の交付率である。休日受付では以前より来庁者は少ないが数名は申請にこられている。

一般質問

一般質問は、議員の日常活動と調査研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

あなたの声を 町政に

6人の議員が一般質問をおこないました。

三朝町は、執行部答弁を除き1人20分以内の制限
時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、
臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしております。

ページ	質問事項	質問議員
7	1 三朝町における英語教育の現状について	山口 博
8	1 健康寿命を延ばすために 2 若杉山にバイオ分解式トイレ設置を	吉村美穂子
9	1 集落要望の対応について 2 道の駅「三朝・楽市楽座」について	河村 明浩
10	1 農業を取り巻く環境と振興策について	松原 成利
11	1 太陽光発電は本当に環境にいいのか 2 特殊詐欺の被害を未然に防ぐためには	森 貴美子
12	1 メタバースで町おこしを	能見 貞明

※ケーブルテレビでは、一般質問後の最初の日曜日に、録画放送を行っています。
(10:00～、18:00～)

教育

問 三朝中学校の英語教育の現状は

答 読むこと、話すことの力は全国レベル以上だ

今春の全国学力テストの三朝中の英語の平均正答率をどの様に見ているか

山口

今春の全国学力テストで三朝中3年生の英語全体の平均正答率が県の42%を上回る44%だが、全国平均45.6%を下回っていることを教育長はどの様に見ているか。

教育長

個々の項目で見ると、読むことでは県平均を6.7ポイント上回り、全国平均より2.3ポイント高く、話すことでは6.3ポイント全国を上回っており、全体ではさほど大きな差があるとは考えていない。

他町が羨ましがる英語教育充実の成果は

山口

他町が羨ましがる中学生の訪仏事業・訪台事業や保小からの英語教育の取り組みなどの成果は。

教育長

10年近く続けている訪仏事業や訪台事業は子どもたちのモチベーション、やる気を高める大きな効果があると実感している。

英語の勉強が好きと答えた子どもは、小学生80%、中学生75%と県や全国より10ポイント以上高くなっている。

多様な学習機会への積極的参加を

山口

図書館で実施しているみささ英語村は、町民の参加が少なく、中学生の参加を期待している。

英会話が中心で学校英語とは違った経験が出来るので中学生に是非参加して欲しい。

教育長

英会話で重要なのは、ネイティブスピーカーと1対1で会話することであるが、機会が中々作れず、上手くいかないと教育長会等で話が出ているが、そういう機会を作れたらと考えている。

町独自の英語スピーチコンテストの開催を

山口

保小中の各教育段階での英語力・会話力の確認と向上を目指して英語スピーチコンテストを開催してはどうか。

中学生の訪仏や訪台ではコミュニケーションは英語が中心になると思われるので、スピーチコンテストの結果を中学生の訪仏・訪台の候補選考の参考にしては。

教育長

学校現場の多忙な中において約束は出来ないが、そのような時期が来れば学校と相談しながら進めたい。

訪仏や訪台の派遣候補の選考にスピーチコンテストの結果を活用することは日程的に難しいのが現状である。



山口 博 議員

三朝町の国際理解教育・英語教育の一層の充実を

山口

私が色々提案したことを参考としていただきながら、三朝町の国際理解教育・英語教育の一層の発展に努めていただきたい。

教育長

全国学力テストで、三朝の優れている点は、国語、数学、英語で、特に記述式の得点が高いとの感想を持っている。

暗記ではなく、与えられた条件を使って答を自分で出すことに長けている点は誇れるところとの感想を持っている。

今回の質問ではますます三朝町教育頑張れとの励ましをいただいたものと感じている。



中学生の訪台・訪仏事業

問 健康寿命を延ばすための施策は

答 特色ある健康づくり計画を策定する

本町における健康ポイント事業

吉村

本町が行なっていた健康ポイント事業の成果はどうか。

町長

健康づくりの関心を醸成し、行動に移す人が増えてきたと感じる。

吉村

なぜ、本町の健康ポイント事業を辞めたのか。

町長

参加者が固定化されてきた事もあり、県の施策を活用する事で、連携しながら運動の継続と習慣化を進めていく事が必要だと考える。



とっとり健康ポイント事業チラシ

官民連携で健康管理をしていくのはどうか

吉村

アプリによる健康管理を取り入れ、自治体、住民、事業者と連携して生活習慣病の予防と健康寿命を延ばしてはどうか。

町長

アプリの利用など新しい手法も取り入れるが、人と人とのコミュニケーションによる健康づくりも大切だと思う。

吉村

湯梨浜町が取り入れているタニタヘルシークラブのように、企業と協働で町民の健康管理をしていくのも効果があるのではないかと。

町長

いろんな企業との関わりの中で健康をベースにしてそういう機会があれば活用していきたい。



吉村美穂子 議員

吉村

団塊の世代が2025年までに、後期高齢者に達することにより、介護、医療費など社会保障費の急増が懸念される。若い頃からの健康づくりへの取り組みが必要ではないか。

町長

今年度から鳥取県国民保険団体連合会から送付されるデータを参考に、保健師が健康指導を進めている。温泉を活用した健康まちづくりの中でも、運動とスポーツの習慣化、そして、入浴も併せて検討するチームを立ち上げて、町として新しい形の健康づくりを考えていく。

町長

地域の資源の活用という事に対して、どのような環境を地域と作っていくか検討していきたい。

吉村

若杉山の頂上ではなく駐車場周辺に設置をしてもらいたい。



バイオ分解式トイレ (旧美歎水源地)

問 若杉山にバイオ分解式トイレの設置を

答 維持、管理の方法などに課題があるが地域の方と考える必要がある

安心して登山を楽しんで貰うためバイオ分解式トイレを設置してはどうか

吉村

若杉山が雑誌「山と溪谷」の特集で全国絶景50選に紹介されてから、県外からの登山者も多くなった。安心して登山を楽しんで貰うため、配管が困難な山岳などで取り入れられているバイオ分解式トイレを設置してはどうか。

町長

トイレ設置をする時に検討すべき事は、日常の維持管理、コストをどうするかが課題となるだろう。

吉村

水が不要、汲み取り作業も無いバイオ分解式トイレは、現地で組み立て工事や浄化槽の設置も不要である。また、凍結の心配がないため適していると思う。

政策

問 集落要望と台風7号災害への対応状況は

答 緊急なものから優先順位をつけ課題解決に向けていく

集落要望の対応状況は

河村

集落要望の対応は、何%程度実施されているか。

町長

年々、要望件数も増えている。令和5年度の要望で完了したものは5%であり、内容によっては複数年かかるものや対応困難なものもある。

ハード的な要望は文章だけでなく、現地確認を

河村

現場で協議をすると、互いに確認ができ、様々な対応方法を考えることができるのでは。

町長

基本的には状況を写真等で把握し、職員が現場に出て確認している。

台風7号災害への対応

河村

台風の災害対応は多大な用務となり心配だが、どう行っていくのか。

町長

町の技術職も限られているため、県職員やコンサルタントとともに災害への対応にあたっている。地元の方にもできることは協力をお願いしたい。



河村 明浩 議員

河村

今回の監査委員の意見に技術系の職員の確保が必要という意見があったが。

町長

このために技術系の職員を確保することは現実的には無理な話なので、技術のある県職員やコンサルタントに協力していただく形をとりたい。



台風7号被害状況

地域

問 道の駅の今後は

答 協議しながら進めていく

道の駅の存続を

河村

今年9月末で閉店される道の駅三朝・楽市楽座は観光客や町民への大きな役割を担っている。地域活性化のためにも道の駅を存続できないか。

町長

現在、道の駅は休憩機能、情報発信機能、地域連携機能が整っていることが運営基準となっていたり、楽市楽座が道の駅に認定された当時と状況が変わっている。道の駅の登録の扱いは、道路管理者と協議しながら進めていく。

直売所に出荷されている方の痛手になるのでは

河村

J A鳥取中央によると、令和2年度から4年度は1日100名程度が来客している。今後、日本遺産である三朝温泉・三徳山への観光客、更には県立美術館への来館者の影響により交通量も増えていくと思う。

生産者がつくる友の会の努力で新鮮な野菜を安価で提供し、県外者からも好評だったが、三朝の野菜は三朝で売るという観点から、行政の支援はできないか。

町長

農家の方には、閉店は寂しいと思うが、町内にはおひさま市など直売の形が伸びていくような生産振興、農家の育成に繋げていくことが大事である。



道の駅楽市楽座

問 農業を取り巻く環境と振興策について

答 農協との連携強化は一層重要なこと

三朝米ブランド化の推進を今一度

松原

町内では古くからの梨や近年はブロッコリーなども生産されているが、今一度、本町特産品「三朝米」のブランド化を推進するべきでは。

町長

平成20年に立ち上がった活動は、「特選三朝米ブランド化促進協議会」が引き継いでおり、今後も高付加価値化と意欲向上に繋がるものと思う。

農業委員会会長

今まで以上に生産者の努力と投資が必要な時期であり、組織強化や後継者育成にしっかり寄り添う体制で応援したい。

三朝米生産に注力すべきでは

松原

ライスセンター受入量は前年比83%程度に減少しているようだが、高齢化などの要因ではないのか。もう一度、注力すべきでは。

町長

経営形態でみると、家族、担い手、営農組織の3つだが、家族経営や営農組織は高齢化の不安もある。基本的には担い手に重点を置き、家族経営の中での関りを考える時期だと思う。

農業委員会会長

農業委員会の調査段階でも、神倉大豆への転換や遊休農地化も増えているようだが、反収減や等級低下、ライスセンター経費の値上がり等により、農家の意欲が落ちていることもある。三朝米ブランド化は生産量が小さ過ぎて大量な消費者向けには無理があり、角度を変えるべきと考える。



三朝ライスセンターへの搬入作業

農協との定期的な協議の場を

松原

町内農協系施設の閉鎖が相次いでいるが、農業者や町民の不利益とならないよう、定期的な連絡協議の場をつくり、日頃から緊密な関係を保つべき。

町長

鳥取中央農協の執行体制が新しくなり、情報交換会を提案して、先日、農業委員会会長や双方の幹部でスタートさせた。町内正準組合員数は2,124名に上り、農協との連携強化は一層重要であり、今後もテーマを持ち寄り、理解を深め農業振興に努めたい。



松原 成利 議員

農業委員会会長

先日設けられた場に、今後も農業者の代表として参加協力していきたい。農業委員は日頃から担当地域に出かけ、農家に寄り添い、見守り、声掛けを行い状況把握に努めたい。

連絡協議の今後の運営方針は

松原

私の思いにタイムリーな動きであり、行政側が主導権を持つくらいに進めるべきと思うが、初回の感想などはどうか。町民が占める預金高は人数以上に高く重要な町と考える。

町長

当面は年に3回から4回と思っているが必要に応じて声を掛け、双方それぞれの課長レベルでの調整も考えている。

農業委員会会長

中央サービス等の体制については、以前より前向きで農業者寄りの対応と受け止めている。

環境

問 太陽光パネルが環境に悪い影響を与えるのでは

答 課題を把握し、町の自然を守る方法を考える

太陽光発電のデメリットの発信を

森

太陽光パネルは豪雨や強風などの災害に弱い。また、製造時には多大な環境負荷を与え、設置して20年から30年後には処分が必要となり、産業廃棄物としての費用が大きい。メリットだけではなく、デメリットを町民に伝えることは大切だと思うが。

町長

太陽光パネルには多くの課題があることは認識している。町としては、安易な農地転用、林地開発に繋がらないよう正しい情報をしっかりと掴みながら啓発もしていきたい。

森林伐採によるメガソーラ建設に住民の疑問の声

森

メガソーラ建設現場付近の住民

からは安全保障上の問題はないかなど不安の声も上がっている。行政も一緒になり問題解決に取り組むことが大切だと思うが。

町長

町内の大規模な設備は旧ゴルフ場跡地等だが、新たに大きな開発地はなく、自然破壊に繋がってはいないと認識している。農業委員会では、本年度定めた農地転用に関するガイドラインにより、事業者に対して住民へ確実に説明をするなどの適正な指導を行っていくこととしている。

豊かな自然こそが環境を守る

森

猛暑が厳しい8月に県外の木々と土に囲まれた施設の駐車場に行った時、とても涼しく自然の力を実感した。三朝町の大切な自然を子どもたちにきちんと手渡してほしいのだが。



森 貴美子 議員

町長

国が太陽光の課題をどう展開するか様子を見つつ、対策を講じ、今後も自然を大切にする町として、豊かな水力の有効活用と、その水力の源である森林の整備促進を大きな目標として頑張りたい。



太陽光パネル（三朝高原）

生活

問 特殊詐欺の被害を未然に防ぐために

答 防災無線等でリアルタイムに知らせている

詐欺の最中に疑うことの難しさ

森

特殊詐欺の手口は様々で、実際に自分自身が詐欺にあった時、詐欺を見分けることの難しさを実感した。電話で振込等のお金の要求をされた時に、立ち止まって考え、確認する癖を町民が身に付けていけるよう情報発信等が大切だと思うが。

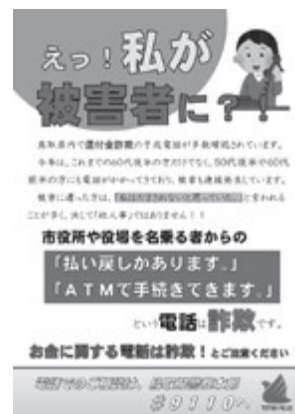
町長

町では、警察からの情報提供を基にリアルタイムでお知らせできるように、主に防災無線を使い注意喚起を行っている。これは詐欺の被害者は高齢者が多く、警察からも防災無線が一番効果的との指導を受け、実施している。

また、町内の駐在所ではチラシ配布や地域の見守りなど様々な方法、機会を通じて新たな手口に迅

速に対応して詐欺被害の未然防止に努めている。

町として被害がゼロになるよう今後とも啓発に努めていきたい。



詐欺広報チラシ（鳥取県警察本部）

問 メタバース（仮想空間）を使い三朝をアピールしては

答 将来を見据えて研究してみたい

メタバースで三朝町の観光や町おこしを

能見

これまで人口増加、移住定住について何回か一般質問してきたが、成果が現れていないように見える。新潟県山古志村（現長岡市山越地区）では、インターネット上のメタバース（仮想空間）に山古志村を再現する取り組みが行われている。三朝でも町のメタバースを作成し、全国へ三朝町の魅力をアピールしてはどうか。

町長

メタバースは先進的な取り組みとして、現在かなり注目されており、多くの自治体が具体化はしていないものの準備を行っているものと推測する。将来的には、発信する内容や魅力的なメタバースのつくりによって、新しい観光宣伝や移住定住先として選ばれることに繋がり、交流人口、関係人口の拡大に寄与する可能性がある。

メタバースを活用して移住定住、観光振興（インバウンド）、人材育成などをやっては

能見

山古志村は以前2,000人いた住民が中越地震後800人まで人口が減少し村の存続が危ぶまれていた。メタバースの人口は1,000人を超え、村人との交流や村おこしの意見交換等多彩な取り組みを行っている。鳥取県でもメタバース課を設置し、鳥取県の紹介をしている。また、倉吉でもこの秋からメタバースを運用し、雇用の創出、人材育成、観光等へ向けた取り組みを行う予定である。

町長

倉吉はもともとウェブ上でポップカルチャーの関係を取り組んでおられるので、その発展かなと思う。やはりそういうところは、センスがあり覚える力や試す力も早い若い人の分野かなと思う。



能見 貞明 議員

能見

三徳山と三朝温泉は日本遺産第1号に認定されているが、例えば投入堂や寺の内部、仏像、旅館の内部、小鹿渓等をバーチャルで再現し、アバターを使って見ることができるようになれば、発信した情報は日本だけでなくインバウンド等にも役立つのではないかと。地域おこし協力隊に勉強してもらい、三朝町をPRしていくことは素晴らしいことだと思うが。

町長

いわれる通りいろんな考えができると思う。仮想空間の中で一度体験したことを現実世界でも実際に体験し、仮想と現実をマッチングさせるようなことも、発想すると面白いものかなと思う。勉強してみたい。



鳥取県のメタバース ©Tezuka Productions,©XANA

【議案に対する賛否】

議案番号	議案名	議員名（議席順）											結果	
		森貴美子	小椋泰志	河村明浩	吉村美穂子	松原成利	松原茂隆	能見貞明	石田恭二	山口博	藤井克孝	遠藤勝太郎		吉田道明
（8月臨時会）														
町長提出議案名														
52	令和5年度三朝町一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
53	令和5年度三朝町温泉配湯事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
54	財産の取得について（マイクロバス（地域・福祉バス））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
55	財産の無償譲渡について（土地）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
56	工作物収去土地明渡等請求事件に係る和解について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
（9月定例会）														
町長提出議案名														
57	専決処分の承認について（令和5年度三朝町一般会計補正予算（第5号））	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
58	令和5年度三朝町一般会計補正予算（第6号）	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
59	令和5年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
60	令和5年度三朝町集落排水処理事業特別会計補正予算（第1号）	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
61	令和4年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
62 ～ 69	令和4年度三朝町特別会計歳入歳出決算の認定について（8件）	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
70	令和4年度三朝町水道事業会計決算の認定について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
71	令和4年度三朝町国民宿舎事業会計決算の認定について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
72	三朝町保育所の設置及び管理に関する条例等の一部改正について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
73	三朝町特別医療費助成条例の一部改正について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
74	令和5年度三朝町一般会計補正予算（第7号）	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
75	令和5年度三朝町温泉配湯事業特別会計補正予算（第2号）	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
76	令和5年度三朝町集落排水処理事業特別会計補正予算（第2号）	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
77	令和5年度三朝町水道事業会計補正予算（第2号）	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
78	功労者の表彰について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
79	教育委員会委員の任命について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
諮1	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適任
議員提出議案名														
議8	ガソリン価格の高騰に係る支援措置の継続を求める意見書	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議9	三朝町議会委員会条例の一部改正について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※○は議案に対する賛成、●は反対等であることを意味しています。
 ※吉田道明議長を除く11名の賛否状況です。

【陳情】 9月定例会の陳情に対する審査結果です。

件名	提出者	審査結果	審査意見
一日も早く選択的夫婦別姓の導入をするよう政府に求める陳情	新日本婦人の会鳥取県本部	不採択	夫婦別姓は社会生活上の様々な問題が発生する。選択的な夫婦別姓が子どもの権利の侵害に及ぶ問題もあり、今後の家族の在り方等心配される部分も多い。
女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を行うよう政府に求める陳情	新日本婦人の会鳥取県本部	趣旨採択	女性の権利侵害に対する救済制度は不十分だが、議定書の批准により司法権独立の侵害や個人通報制度の濫用等が危惧される。
ガソリン価格の高騰に係る意見書の提出について（陳情）	足羽 佑太	採択 意見書提出	自動車は地方では生活必需品であり、ガソリン価格の高騰は大きな経済負担となっている。国が価格高騰への支援措置延長を検討しているが、的確かつ継続的な方策が必要。

秋季大運動会を振り返って

今年度、秋季大運動会は、町営三朝陸上競技場で行いました。私は、9月の運動会での取組を振り返り、その中で努力したことや感じたことをお伝えします。

私は、運動会での取組を通して、学級目標「さあ、いこう～最高の仲間と共に～」の達成に向けて努力しました。そのためにクラスの人と声をかけ合ったり、励まし合ったりしながら練習に取り組みました。また、私のクラスは学級練習の終わりに、必ずみんなでひとつの輪になって今日のよかったところを話し合いました。その時に私は、話している人からだを向けて聞くことで、相手の気持ちを理解するように心がけました。

私たちのクラスは、運動会当日や練習中、誰も手を抜かず一生懸命活動しました。運動会で点数が負けている時もみんなが励まし合ってがんばりました。振り返ると、これが、クラスの一番誇れる点だと私は思います。

この運動会の取組で学級がひとつになる経験をすることができました。そして、大切なのは、このことを学校の授業や普段の生活につなげていくことです。中学校卒業まで約半年、最高の仲間と共に一日一日を大切にしていきたいです。



三朝中学校3年
重信 ひより

議会・委員会を傍聴しませんか

議会の審議はみなさんに公開しています。本会議、委員会等での審議がどのように進められているのか、直接ご覧になってみませんか。

どなたでも傍聴できますので、お気軽に役場2階へお越しください。
※常任委員会・全員協議会の傍聴には委員長・議長の許可が必要です。
詳しくは議会事務局（電話43-3511）にお問い合わせください。

12月定例会の日程予定（案）

会期 12月7日～12月15日
（9日間）

※日程は変更になる場合があります。
※近づきましたら、防災無線、町ホームページでもお知らせします。

活動報告



台湾石岡区友好協定15周年記念事業
に参加しました



三朝小学校の新築工事の視察を行いました

発行責任者 吉田 道明
議長 吉田 道明
編集 議会広報常任委員会
委員長 小椋 泰志
副委員長 森 貴美子
委員 松原 茂隆
委員 吉村美穂子
委員 河村 明浩

中秋の名月を迎え、日に日に秋の気配を感じ始めたといえ、気象庁によると今年の夏は過去最高を上回る圧倒的な暑さだったようだ。連続する猛暑日は、私たちが地球温暖化の真っ只中にいることを実感させる。
異常気象は災害をもたらす。8月の台風7号では本町の公共施設や道路、農作物などが、過去にないほどの大きな被害を被った。これから私たちにできることは一刻も早い復興であるが、何より大切なのは、今後も継続して起こるかもしれない災害に備えることだろう。そのためには地域の特性に合わせ、災害に備える訓練や意識啓発・適切な避難場所の確保など「災害に強いまちづくり」を町民一丸となって創りあげることが大切にちがいない。
（小椋 泰志 記）

